

事故の傾向から考えよう みんなの交通安全対策



出会い頭の衝突事故 ～安全確認が できていますか～



自転車の事故 ～あなたは正しく 乗っていますか～



通り慣れた道路では、「いつも車がこないから今日も大丈夫だろう」となると油断しがちです。そんな「油断」が交通事故を起こす「危険」になります。

常に「車がくるかもしれない」など、危険を予測する運転を心がけましょう。特に自転車やバイクとの交差点での出会い頭事故に注意しましょう。

▼交差点の（停止線の）直前で一時停止。

▼左右が見通せない場合は、見とおし可能な場所まで徐行して必ず左の安全確認を。

①交差点では 必ず止まって安全確認！

「この道はいつも車がこないから」と、交差点を止まらずに進んでしまうと、その時に限って車が走ってくるかもわかりません。一時停止標識があるところでは必ず止まって安全を確認しましょう。

②前かがみの姿勢は危険

前かがみの運転姿勢では視野が狭くなり、危険に気づくのが遅れます。背筋を伸ばして、標識や信号、前方の様子をしっかり見ましょう。

③後ろからの車に注意

右左折するときなど、進路を変えるときは、必ず後ろの安全を確認しましょう。

④夜間はライト点灯と反射材

自転車からは車のライトがまぶしいくらい明るくみえていても、車のドライバーからは自転車は発見しにくく、特に無灯火の自転車は発見が遅れます。

ライトを点灯していても、自転車の側方や後方から来る車からは、発見されにくいので、反射材を取り付けて自立工夫をしましょう。

⑤傘をさして乗らない

傘差し運転が違反であるのはもちろんのこと、傘をさして自転車に乗るとバランスを崩しやすく、視界が狭くなって危険です。

全国地域安全運動

10月11日～10月20日

安全で住みよい地域社会をめざして、犯罪防止に取り組みましょう。

お問い合わせ
市民部 市民安全課（近江庁舎）
☎52-6630 52-6930

米原交通安全市民大会

10月22日(土)
9時30分～12時 ルッチプラザ

交通安全についてみんなで考え、社会全体で「絆」が育まれるまちをめざして開催します。子どもから大人まで一緒に参加できる交通安全体験コーナーもありますので、ぜひご参加ください。



主な内容

表彰&発表（ホール）

- 交通安全の栄誉を称える表彰
- 児童の「絆」交通安全作文の発表
- アトラクション

体験コーナー（ロビー）

- 四輪・自転車シュミレーター
- クイックアーム（俊敏性の測定）
- 飲酒ゴーグル（酒酔い状態の体験）など